

とにかく、走ることが大好きな仲間が集まりました。



● やかた くらぶ 館倶楽部の皆さん

第19回明治用水緑道市民駅伝大会で、Bチームが一般1部で4年連続優勝を果たす。一般4部で出場のAチームも2年連続優勝。

Bチーム (敬称略)	Aチーム (敬称略)
1区 畑山 久人 (37歳)	1区 村瀬 浩 (40歳)
2区 太田 有一 (29歳)	2区 清水 文雄 (55歳)
3区 吉田 淳 (20歳)	3区 川辺 美和子 (54歳)
4区 田口 英樹 (30歳)	4区 川辺 臣一 (48歳)
5区 岩月 崇 (29歳)	5区 田中 正明 (44歳)

先月8日に行われた、第19回明治用水緑道市民駅伝大会一般1部(5人の合計年齢が150歳未満)と、同4部(同250歳以上)で優勝した館倶楽部の皆さんにお話を伺いました。

—Bチームが4年連続優勝となりました。おめでとうございます。今年メンバーなら、なんとか優勝できるのではないかと、自信はあります。

したが、最終ランナーにタスキが渡る時点では2位だったので少し心配しました。それぞれ好不調はありましたが、なんとか勝ててよかったです。やはり、最初にゴールテープを切るのは気持ちがいいですね。

—Aチームも2年連続優勝ですね。安城市在住もしくは在勤という条件がある中で、なんとか2チーム編成したんですが、そのかがありました。

—ところで、館倶楽部とはどういったチームなんですか？

走ることが大好きな仲間の集まりです。市民大会や月例マラソン大会などで、活躍している人たちが走ることを楽しんでる人たちに声をかけているうちに、仲間の輪がどんどん広がっていきました。現在、メンバーは30人以上で、19歳から67歳までと年齢層も幅広くなりました。ただ、住んでいるところや職業もばらばらなため、普段はそれぞれ個々に練習し、週に1度ぐらいみんなで一緒に走ります。

—では、今後の目標を？

フルマラソンやハーフマラソンに力を入れている人、中長距離を得意としている人など、それぞれ目標が違います。でも、みんなで力を合わせて走る駅伝はやはり楽しいので、館倶楽部としては、名岐駅伝などを目標にがんばっていきたいです。そして、もちろん来年のこの大会も優勝をねらいます。

